

巨乳女子校生悠菜さんの妄想自慰にききミミを立てて見たら、凄いエロかった件

ボイス版シナリオ

サンプル版 第一章 「クラスメイトに輪●されて」 1―2だけお楽しみいただけます。





ファイル名:悠菜 01-02

【悠菜】

「ひぐうううっ！！！？ うぐうっ！ んああっ……！
あぐっ、くううっ、ううううんっ……！！」

激痛がお尻の穴から背筋を通って全身に広がる。

【悠菜】

「痛いっ、痛いっ！ ああっ！ ま、まさかつ、ああああっ……」

お尻に感じる激しい異物感の痛みに堪えながら後ろを見ると、
私のお尻の穴に太い肉棒が挿し込まれていた。

【悠菜】

「いやああっ！ いやっ！ いやいやああっ！ いやああっ！ 抜いてえっ！
抜いてえええっ！！ あっ……！ くっ、うううんっ！！ くふうん……！！」

【男子生徒D】 「かああっ、これはすげえ……引きちぎられそうだっ！」

【悠菜】 「あっ、ああっ……くう……私、お尻にいい……ああっ！ ぬ、抜いてえ、

抜いてください……お願いしますう……くっ、んああ……！」

懇願しながら周囲を見ると、男子たちは全員服を脱ぎ捨てていて、

誰もがいきり狂った。ペニスを私の眼前に突き出していた。

気付けば、私もいつのまにか上半身を裸にされており――

【悠菜】 「はぐうっ！ んああっ！ ああっ！ はあっ！ おっ、おううっ、くっ、

おええ……はああっ！ くあああっ……！」

いきなり、お尻の中を抉られる感覚に嗚咽の声が口から出てくる。

【悠菜】 「うつくうっ！ あぐうっ！ んっ！ ああっ！ あっ！ あっ！ あっくう

……ふわあっ、ああっ！ んああっ……！」

だけど、お尻の中を抉られる激痛さえも徐々に快感へと変わり……

あたしの口からは次第に喘ぎ声が洩れていつていた。

【悠菜】

「はああんっ！ あんっ！ ああっ！ だめえ、お尻でえっ、私いつ！

はあっ、あんっ！ ああああっ！ んっ！ んああっ！ はあああんっ！」

【男子生徒F】

「すげえ、悠菜ちゃんお尻でも感じ始めたぜ……み、見ろよ、このだらしない顔

……俺っ、こんなAVみたいな生で見るの初めてだ……我慢できねえよ」

そう1人が口になると、他の男子も口々に感想を洩らしながら自らのペニスを握り始める。

みな目を血走らせながら私の痴態をガン見し、ペニスを必死に擦っていく……

嗚呼、この光景、なんか、すごい……。

【悠菜】

「はああんっ！ あんっ！ あっ！ あっ！ あああっ！ あふうっ！

んんうっ！ あっ！ あああっ！」

思考が麻痺してきているのを自覚しながらも、私はそれに抗うこともせず、男子たちのペニスを
見つめながら自ら快感の声を上げる。

【悠菜】

「もおおだめえっ……！ はあっ！ ああっ！ 私、もう……変態になっちゃううっ！
でもおっ！ でもでもおっ！ いいのおっ！ 気持ちいいのおっ！」

お尻の中の痛みはすでに快感へと変わり、私は自分の意志でこの悦楽に耽っていく……。

【悠菜】

「ふわあっ！ あああっ！ アナルう、気持ちいいですうっ！ はあっ！
あああんっ、腸を擦られるとお、ゾクゾクしてえっ！ 快感、感じますうっ！」

【男子生徒A】

「それだけじゃないよね？」

どこからともなく私を言葉で虐める彼の声が聞こえてくる。私はそれに反射的に口を開いた。

【悠菜】

「はいっ、そうですうっ！ あっ！ ああっ！ 恥ずかしいところ見られてえ、それが、すごく気持ちいいですうっ！ んんうああああっ……！」

【悠菜】

「ほんとはいつもおっ！ 男子たちに見られながらあっ、はあっ！
ああっ！ 犯され、ないかってえ、んんっ、期待、してましたあっ……！」

【悠菜】

「ひうんうっ！ んんっ！ あっ！ ああっ！ はああんっ！ お尻いつ、
あああっ！ 気持ち、いいですうっ！ あああんっ！ はあっ！ あああっ！」

奥の奥までペニスが入り込み、腸の中をカリが引っ搔いて出口付近まで戻る。

その引っ搔きが、私のアナルを最高潮に悦ばせる。

【悠菜】

「はあっ、あああんっ！ だめえっ！ もうイツちやううっ！ アナル、
気持ちよくてイツちやううっ！ はあっ！ あんっ！ あっ！ あっ！ あっ！」

【男子生徒D】 「くっ、き、きつうっ……！ で、出るっ……！」

【悠菜】 「ふわああああっ！！ ああっ！ あっ……！ ああああああああああ

……！！！」

お尻の中に射精されると同時に、私も絶頂を迎えた。

【男子生徒F】 「ああっ、俺も……！」

【悠菜】 「いやああっ！ か、顔にいつ……ううっ、うう……」

【男子生徒G】 「俺もっ、うううっ！」

【悠菜】 「あああっ！ 熱いつ、熱い精液い……ふわあっ、あああ……」

【男子生徒H】 「くっ、ううう……」

【悠菜】 「はああんっ！ かけてええっ、もっと私にザーメンたくさんかけてえええ……

ふわあっ、あああああ……」

【悠菜】 「ああっ、あああっ……いいい、いっぱい、白いの、いっぱい、私に

……んあ、ああ……匂いも、すごい……」

嗚呼……お尻に広がる精液の感触……それに、身体中に感じる、熱い粘液……私の身体、悦んでる……。

【悠菜】 「ああっ、臭い………精液の匂いが、私から、してるう……」

全身から立ち込める精液の独特な匂いに、絶頂も相俟ってぼんやりしてくる。

【男子生徒Ⅰ】 「俺たちにもかけさせろっ」

まだ後ろに控えていた男子たちが、突然私の顔前にペニスを突き出してきた。

【悠菜】 「嗚呼……男のアレが……ペニスが、いっぱい……」

【男子生徒Ⅱ】 「悠菜ちゃんっ、口開けてっ、舌も出してっ」

【悠菜】 「は、はい……んああ……」

私は男子の言われたとおりに舌を突き出す。嗚呼っ、もしかして、もしかして、口に精液をお……。

【悠菜】 「あああゝっ、あっ、あああ……あふいい……舌に、せえへきはあゝ……」

私の望み通り、男子たちの熱い精液が口の中に掛けられる。

【悠菜】 「ふわあっ、んあああ、顔にも、精液があ、いっぱい……」

【男子生徒K】 「ほらっ、飲んでみてよ、俺たちの精液を」

【悠菜】 「は、はい……」

【悠菜】 「んっ、んぐう……」

口を閉じて、舌の上に出された精液を味わいながら、少しずつ飲み込んでいく。

そして、ゆっくりと口を開いた。

【悠菜】

「あああゝ……へんぶ、のひまひはあ……あふうて、ふはふへ、ほいいの、へんぶう……あつ、ああ……」

【男子生徒たち】

「おおおゝゝゝ……!!」

私にペニスを突き出している男子たちが軽く歓声を上げる。

その声になんだか嬉しさを覚えてしまう。男を悦ばせることができたことに、心が弾む。

【悠菜】

「ふふっ、うふふっ……」

私……男子たちの精液飲んで、悦んで……それを見られてることが、気持ち、いい……。

【男子生徒C】

「か、か、神崎さんっ、お、おっぱい、弄ってもいい?」

ちよっと前まで私の胸を揉みしだいていた彼が、ギンギンに膨らませたペニスを近づいてくる。

【悠菜】 「え、えええ、いいわよ……好きにしても……」

なぜか彼を見ると、顔が綻んでしまう。これって母性本能とでも言うのかしら……？
きつとこれも、男を悦ばせているから覚える快感の一種なのね……。

【男子生徒C】 「んちゅつ、ちゅう……おっぱいい……神崎さんの、おっぱいい……ちゅつ、うう……」

【悠菜】 「ああつ、いいいつ、もつと、もつと舐めてえ……ふうんつ、んあつ！

あつ……！ ああああ……」

舐められ、指で弄られ、私の乳首がさらに肥大化していく。それにより……。

【悠菜】 「あんつ、ああつ……乳首、ジンジンしてえ、気持ちいい……！

もつと乳首弄ってえ、舐めてえ、はあつ、あああんつ……」

【男子生徒C】 「ああつ、神崎さんつ……ちゅるつ、ちゅつ、うう、れろれろ、ちゅうつ、んう……！！」

彼は執拗にミルクをねだる赤ん坊のように私の乳首を舐め回してきた。

【悠菜】

「ああんっ！ いいよっ、いいいつ……そのまま乳首舐めてえ、

私の大きなおっぱい、虐めてえ……はあんっ、あつ、ああん……」

私も子どもをあやすように声を掛け、勃起した乳首を好きにさせる。

こうやって甘えられるのも、なんだか心地いい。私、なんでも感じてしまう、淫乱な女なんだわ……。

【悠菜】

「はあっ！ あつ、んああ……だめええ、気持ちいい……私、おっぱいで、

イカされちゃいそう……」

でも、やっぱり……オマ○コに欲しい……乳首もアナルもいいけど、オマ○コに欲しい……

疼いてるのお……。

【男子生徒A】 「さてと、僕もそろそろ神崎さんを味わわせてもらおうかな」

【男子生徒E】 「だったら、俺は今度は尻を使わせてもらうか」

ああっ、そんなあ、それって2人同時ってことおっ……嗚呼っ、どれだけ気持ちよくなれるのおっ……。

【悠菜】 「はあああああっ！！ あぐっ！ うっ、んんううっ……！！」

私が期待で胸を膨らましていると、オマ○コとアナル両方に硬いペニスが同時にずぶりと入ってきた。

【悠菜】 「す、すごいいっ！ これすごいいい……！ お腹の中でえ、

二つのペニスがごりごりしてるう……んあああんっ！」

【男子生徒E】 「おいおい、まだ教えたりねえのか？ 喋り方教えただろ？ じゃねえと動かねえぞ」

【悠菜】 「す、すいませんっ……オマ○コもアナルも、ペニスで何度も擦ってくださいいっ

……！ 私のエッチな穴で気持ちよくなってください……お願いしますう」

【男子生徒A】「ふふっ、正直になったね神崎さん。そう言いながらオマ○コの中がうねってるよ。」

まったく、こんなことされてるつてのにね」

【悠菜】「は、はいっ……私は、ドMの淫乱女ですう……だから、もっと虐めてください……」

【男子生徒A】「仕方ないなあ、じゃあその分、分かってるよね？」

【悠菜】「は、はいっ！ 分かってますうっ！ たくさん気持ちよくさせて

いただきますうっ……！」

【男子生徒E】「じゃあっ、本当にそうできるか見せてもらおうかつ！」

【悠菜】「はあああああんっ！！ お尻いいっ……！！ んああっ！ あぐうっ、んんうっ！」

き、来たあ、乱暴な。ペニスがお尻の穴広げてるううう……！！ 擦ってるう！

【男子生徒A】「さて、僕も……たくさん喘いで、だらしな顔をみんなに見てもらうんだよっ」

【悠菜】「はいっ！ 分かりましたあっ！ あああっ！！ はううっ、んっ！ ああっ！

あっ！ あんっ！ あああっ！！」

【悠菜】

「ああっ！ はあっ！ あっ！ あああんっ！ 気持ちいいっ！
気持ちいいですうっ！」

【男子生徒C】

「ああっ、俺も……」

胸をたくさん虐めてくれた彼が、今にも爆発しそうなペニスを私の目の前に持ってくる。

【悠菜】

「いいわよっ、舐めてあげる……ちゅうっ、ちゅっ、んう……

ちゅるっ、んんっ！ ああっ！ お腹もお、ごりごりいゝ……んあああんっ！」

【男子生徒E】

「おいっ、自分だけが良くなってんじやねえよっ！」

【悠菜】

「す、すいませんっ……んっ、くふうんっ！ あああっ！ どおっ、ですかあっ！

ああっ！ 気持ち、いいですかあっ！」

【男子生徒E】

「ああ、その調子だっ……！ 穴が閉まっいい感じだぜっ、

中もトロトロで最高だっ！」

【悠菜】

「は、はいっ！　ありがとうございますっ！　あああっ！　んっ、くう……

私のオマ○コはあ、どう、ですかあっ！　ああっ！　んああんっ！」

【男子生徒A】

「いいよ、神崎さんっ、そのままオマ○コの奥のほうに力を入れてっ」

【悠菜】

「分かりましたあっ！　あああっ！　ふわあっ、あっ！　ああっ！　はああんっ！

あっ！　あああっ！」

【悠菜】

「ふうっ！　あっ！　目の前の、ペニスもおっ……んっ、んちゅっ！

ちゅうっ、んあああっ……ちゅっ、ちゅぷっ……んあああ……！」

【悠菜】

「はあっ！　あっ、んんうっ、ちゅぱっ、ちゅうっ！　じゅるうっ、んっ、

んああ……はあっ！　あっ！　あああっ！　あっ、んあああああっ！」

嗚呼、私、男子たちに命令されてめちゃくちゃにされてる。

しかもそれをたくさん男子に見られてるっ……。

【悠菜】

「はああんっ！ あっ！ あんっ！ んちゅうっ、ちゅあっ、はああっ！

んっ、うううんっ！ ちゅうっ！ んうっ、んああっ！ ちゅうっ！ ああっ！」

教室中に私の声が響いてっ……それに男子たちの荒い息遣いも聞こえるっ。

いつも学校で望んでいたことが叶ってる。

私のいやらしい身体を、淫らに乱れてる姿をみんなに見られてる。

【悠菜】

「ああっ！ あんっ！ 最高おっ！ 私はあっ、んんうっ……

これ waited たのおっ！ あああっ！ 乱暴にい、レイプされることお、

待ってたのおっ！」

【悠菜】

「はあああっ！ もっとお！ もっと突いてくださいっ！ もっと犯して

くださいっ！！ はああっ！ あんっ！ あっ！ あああっ！」

【悠菜】

「はあんっ！ あんっ！ あんっ！ ああっ！ んんううっ、ちゅうっ、ちゅばあっ、ちゅうう……レロ、レロ……ふううんうっ、ああああっ……！！」

【男子生徒C】

「あああっ、俺もう、ダメ……出ちゃう……」

【男子生徒E】

「くう、俺も情けねえことに、もう出そうだ……おいつ、いいか？」

ダミ声の彼の言葉に、目の前でペニスをさらに大きくさせている彼が頷く。

【悠菜】

「はああっ！ 来るうっ！ 熱い精液来るのおっ！ あああんっ！
顔にい、掛けてえっ、アナルにも、溢れるくらいいっぱい出してくださいっ！」

【悠菜】

「あああんっ！ あああんっ！ イクっ、イクうう……頭の中あっ、真っ白に
してえっ！ あああっ！ 私い、飛んじやいそおっ！ あああっ！ んああ！」

【悠菜】

「はああっ！ あっ！ あっ！ あああああああああああああんっ！！」

【悠菜】

「あああああっ！ はあっ、あっ、ああああああ……熱いいっ、熱いいいいっ……！！」

私の絶頂より少し遅く、お尻の中と顔に熱い精液がほとばしってくる。

【悠菜】

「はおあつ……あつ……あつ……あつ、ああああん……ふわあつ、あああ……」

【男子生徒A】

「ほんと淫乱だね神崎さん。二穴同時に責められて自ら男のものを舐めて、しかも先にイっちゃうなんて」

【悠菜】

「はああ、はいい……オマ○コも、アナルも、犯されてえ、イって、

しまいましたあ……はあつ、あああ……」

【男子生徒A】

「でも僕はまだ達してないんだ。このまま続けるからね」

奥付け

本体験版は□1―2だけお楽しみいただけます。

○収録内容について

第一章 「クラスメイトに輪姦されて」

01 23:44

02 14:56

03 08:25

第二章 「授業中―用務員に脅迫されて奉仕」

01 16:08

02 14:39

03 10:16

第三章 「通勤電車―スーツの男達に脅迫されて」

01 10:41

02 13:50

03 12:57

◇ご注意

この作品は18歳以上の成人を対象に作られています。

18歳未満の方の購入・閲覧は固くお断りしておりますので、ご了承ください。

本作品を無断で配布、複製、転載する事を固く禁じます。

作品の御使用により生じたあらゆる損害等に関し、当サークルは一切の責任を負いかねます。

作品について何かありましたら、以下のメールアドレスまでお知らせください。

kaneyasuhan@gmail.com

pixivとTwitter、Cienを開設しました

フォローしてもらえると嬉しいです

PIXIV <https://www.pixiv.net/users/49967073>

Twitter <https://twitter.com/kaneyasuhan>

Cien <https://ci-en.dlsite.com/creator/5143>